

大学受験とそのあり方に関する研究

母親の大学教育観

—— 女子高生の志望・母親の年齢・子どもの数との関わりから ——

○ 寺嶋文代（都立北多摩高校）

浅田隆夫（筑波大学）

母親 大学教育観

1 調査の目的・内容

1) 調査の目的

情報化、国際化、少子、高齢化社会の到来など、激的に変化の時代で大学の中身も大きく変わりつつあります。大学受験の進路・進学を選定にあたって、女子高生の母親が子どもの大学受験に対する考え方やこれからの生活設計について、どのようなことを考え期待しているのか。親は子どもの希望を育む情報を積極的に与えてやるのが大切かと思う。また、子育てや職業生活が終わった後の人生をどう生きるかという課題等、将来をみつめた子どものライフデザインについて、家庭内でも充分話し合うことも求められていると思う。教育の価値観が変化の中で、女子高生の母親が子どもの大学受験や生涯学習時代にむけたこれからの生活設計について、どのようなことを考え、希望しているのかなどについて明らかにしたい。

2) 調査の内容

大学は社会の期待に応えるため、それぞれ独自の立場からいろいろ具体的な内容につき取組みがなされつつあります。

この調査では、これらの取組みについてⅠ 教育一般に対する考え方 Ⅱ 教育内容の方針について Ⅲ 学生募集や教員採用の状況 Ⅳ 施設・設備の準備状況 Ⅴ その他 の5つに分けて質問しました。それぞれの内容についてどの程度必要だと思うか。必要の程度の尺度は、次の5段階に分けました。

- 1 全く必要でない 2 あまり必要でない 3 どちらともいえない
4 わりに必要である 5 非常に必要である

この5段階のうち、それぞれの項目に対する考えに最も近いところの数字に ○印をつける方法である。

2 調査の対象・方法

M学園女子高等学校3年生330人（8学級）のその母親。

学級担任による内容説明（平成5年12月20日）後、自宅に持ち帰り記入。

回収は平成6年1月8日。回収率 79.8%

親の年齢（表1）、子どもの数（表2）

3 結果および考察

(A) 母親の大学教育観（表3）（表4）と学生募集について（表5）および施設・設備について（表6）の関わり

* 「教育一般に対する考え方」「教育内容の方針について」「施設・設備について」

「学生募集について」それぞれ全体の平均をだしてみると教育一般・教育内容に

| | | |
|---------------|---------|---------------|
| 「教育一般に対する考え方」 | …… 4. 0 | についてと、施設・設備等の |
| 「教育内容の方針について」 | …… 3. 9 | 関わりは連係されるもので |
| 「施設・設備について」 | …… 4. 0 | 親の意識や関心がわりに高 |
| 「学生募集について」 | …… 3. 5 | い傾向である。子どもには |
| | | 豊かな人間性を育ててくれ |

る教育を願い、「実践的な外国語能力」を身につけ、「国際感覚を養成」し、教育には個人の主体性・独自性の成長を願っていることが強くあらわれている。具体的な教育内容については、「少数教育で丁寧な講義」「進路相談を重視し、社会にでてすぐ役にたつような教育」「OA機器を用いた教育で資格取得に役立つ設備」等、社会にでるための援助を中心にした知識や技能を必要としている傾向があらわれている。また、「短大から併設大学の編入」、「他大学との単位互換制度の実施」等 教育制度に期待を示している必要性がみられる。

- * 学生募集についての関わりは比較的、関心がなく消極的である。しかし「外国人学生の積極的な受け入れ」「帰国子女の受け入れ体制の完備」「外国人留学生のための日本語教育の充実」等には比較的関心があり、わりと必要とされている。「社会人の積極的な受け入れ」については、や、関心がうすいようである。

(B) 女子高生の志望と母親の大学教育観の関わりについて

- * 4大(文系・理系)志望の親は、「社会人の積極的な受け入れ」「社会人入試」「社会人大学院の設置」「夜間大学院の設置」等に非常に関心が強い。生涯学習に対する需要が増大しているなかで、教育水準の向上、価値観の多様化等を背景に学習要求は多様化・高度化しており、「いつでも、どこでも、必要に応じて学習できる社会」に入学制度の検討、実施を期待するものである。両親の高学歴ともども、子どもにも4大へという希望があらわれている。 <有意であった要因効果を示した>
- * 理系(4大・短大)志望の親は、「施設・設備について」の関心が強い。特に「資格取得に役立つ設備があること」に強い希望を期待している。これは大学卒業しても就職難という大きな課題が悩みであろう。 <有意であった要因効果を示した>
- * その他として「大学に対する期待」として4大(文系・理系)志望の親は、「入学は易しく、卒業は難しく」を強く期待している。親のアンケートVIの意見から受験勉強に追われたためか大学を遊び場とまちがっている。巾広い学問の習得が不十分である。現在の高校教育は余りに受験目的に傾きすぎている。高校生までに社会人として巾広い知識、徹底したしつけ教育が必要である。等人間育成に身を入れて、学びたい人は誰でも入れるような大学にすればよい。入試は簡単、卒業は厳しく。親の要望・意見であった。 <(p<.05)有意であった要因効果を示した >

(C) 母親の年齢と大学教育観との関わりについて

- * 親の年齢が高くなればなるほど「留学や教育の国際化」が重要視する傾向がみられる。子どもの社会性を育てる上で、人との接触は最も基本的なことである。さらに、国際間へと広げることのできる機会や場を必要としている。趣味・文化・学習・教育

スポーツ・福祉等、幅広い分野にわたる社会参加活動が活発にさせている。

- * 親の年齢が高くなればなるほど、教育内容の教育制度改革を重視している。「短大から併設大学への編入」「他大学との単位互換制度の実施」「アジア圏の語学教育の重視」など大学や専門学校が連携しあっていけば、入試制度も変わるだろう。

(D) 子どもの数と母親の大学教育観との関わりについて

- * 《 1人の場合 》 —— 「豊かな人間性の涵養」「社会生活の基本ルールを身につけ、世間に通用する常識を教える」等人間性を育てる期待が非常に強い。
- * 《 2人の場合 》 —— 「教育一般に対する考え方」すべてに調和のとれた取り組みである。特に「国際感覚の育成・高度な専門的知識をもった教師」を強く希望している。〈子どもの要因の主効果あり (p < .05) 〉 また、教育には「個人の主体性・独自性の成長」を期待している。大学の新しい「教育制度」に期待を示している。〈子どもの要因の主効果あり (p < .05) 〉
- * 《 3人の場合 》 —— 「社会人の積極的な受け入れ」には消極的である。「教育には社会生活に通用する常識を身につけさせ、時代に併せて新しい試みを取り入れながら、高度な技能を拾得させる」取り組みが必要である傾向を示している。大学の「教育制度」の改革も重要視している傾向がある。

4 まとめ

- 学校教育は、生涯学習の基盤を培う重要な役割をもち、初等・中等教育の段階では生涯にわたる学習を行うために、必要な基本的な能力と意欲・態度を育成する上で重

表 1

F 2. 親の年齢

| | |
|--------|----------------|
| 43歳以下 | 66 (25.1) |
| 44-47歳 | 121 (46.0) |
| 48-51歳 | 53 (20.2) |
| 52歳以上 | 23 (8.7) |
| 計 | 263 (100.0) |

1)括弧内はパーセント

要である。高校生の段階から、将来の進路をきちんと決めておくことが必要である。そして、情報化、国際化、少子、高齢化等変化する時代のなかで大切なことは、生涯学習時代にむけた新しい視点からの進路を見つめる必要がある。

- 大学受験の進路・進学を選定にあたって親が留意すべき点

- ・ 子どもの未来への希望を実現させてやる思いやりをもつこと。
- ・ 進路の決定は子どもにとって自立へのチャンスである。 独立心がもてるように上手にアドバイスする。(希望を育む情報)

- 家庭の中での父親のかかわり方

日本では、子どもの相手を「積極的にやっている」という父親は半数に満たない。今回「ご両親の大学に対する意見」を伺ったところ39名(18.4%)の回答でした。父親が家庭内のことをすべて母親に押しつけているため、母親は生涯学習などの新しいライフスタイルに挑戦することもできないという指摘をうけている。新しい時代の女性、特に母親の豊かなライフデザイン

F 3. 子どもの数

表 2

| | 0人 | 1人 | 2人 | 3人 | 計 |
|--------|---------------|---------------|---------------|-------------|----------------|
| 小学投入学前 | 256 (98.9) | 3 (1.1) | 0 (0.0) | 0 (0.0) | 261 (100.0) |
| 小学生 | 247 (94.6) | 14 (5.4) | 0 (0.0) | 0 (0.0) | 261 (100.0) |
| 中・高校生 | 3 (1.2) | 143 (55.0) | 104 (40.0) | 10 (3.8) | 260 (100.0) |
| 大学生 | 194 (74.3) | 65 (24.9) | 2 (0.8) | 0 (0.0) | 261 (100.0) |
| 社会人 | 211 (80.8) | 39 (14.9) | 11 (4.2) | 0 (0.0) | 261 (100.0) |

1)括弧内はパーセント

を実現させるためにも父親が家庭生活・家庭教育の場に積極的に参加してもらいたい。

表4

II. 教育内容の方針について

| P 2 | 平均 | SD |
|---------------------|-----|-----|
| 1. 熱心でわかり易く、丁寧な講義 | 4.4 | 0.7 |
| 10. 実用的な語学教育の重視 | 4.4 | 0.7 |
| 13. 学生の進路相談の重視 | 4.3 | 0.7 |
| 2. 対話・討論型の授業 | 4.1 | 0.8 |
| 4. 少人数教育 | 4.0 | 0.7 |
| 7. 社会に出てすぐ役に立つような教育 | 4.0 | 0.8 |
| 11. 短大から併設大学への編入 | 4.0 | 0.8 |
| 3. 学生に詳細な授業計画を事前に配布 | 3.8 | 0.8 |
| 6. 教師による授業の進め方の改善 | 3.8 | 0.8 |
| 9. 豊富なOA機器を用いた教育 | 3.8 | 0.7 |
| 12. 他大学との単位互換制度の実施 | 3.7 | 0.9 |
| 8. 学生が企業の現場に出向いての実習 | 3.6 | 1.0 |
| 14. アジア圏の語学教育の重視 | 3.6 | 0.8 |
| 5. 成績不良者への積極的な退学勧告 | 2.8 | 1.0 |

表3

I. 教育一般に対する考え方

| P 1 | 平均 | SD |
|-------------------------------|-----|-----|
| 6. 実践的な外国語能力の重視 | 4.5 | 0.7 |
| 14. 主体性のある行動力を培うこと | 4.5 | 0.6 |
| 18. 豊かな人間性の涵養 | 4.5 | 0.7 |
| 4. 教育熱心な教師がいること | 4.4 | 0.8 |
| 19. 自分の道は自分で切り開くような指導 | 4.4 | 0.7 |
| 20. 各自の目標をもたせること | 4.4 | 0.6 |
| 2. 創造性(ひらめき)の育成 | 4.3 | 0.7 |
| 15. 社会生活の基本ルールを身につけること | 4.3 | 0.8 |
| 17. 総合的な判断力の育成 | 4.3 | 0.7 |
| 10. 国際感覚を養うこと | 4.2 | 0.7 |
| 13. 客観的な正しい知識の育成 | 4.2 | 0.7 |
| 11. 学業以外の人物評価の重視 | 4.1 | 0.8 |
| 22. チャレンジ精神の重視 | 4.1 | 0.8 |
| 27. 強い意志をもった人材の育成 | 4.1 | 0.7 |
| 24. 時代の変化に対応した教育方針 | 4.0 | 0.8 |
| 25. 各分野の高度な知識・技術を身につけた専門家の育成 | 4.0 | 0.8 |
| 8. 社会の期待に応える教師の意識改革 | 3.9 | 0.9 |
| 7. 学術的な知識より世間に通用する常識を教えること | 3.8 | 0.9 |
| 26. 学生の精進に対する要望を積極的にとり入れていること | 3.8 | 0.8 |
| 9. 大学の校風の維持 | 3.7 | 0.9 |
| 12. 他大学の学者も交えた大学評価の導入 | 3.7 | 0.9 |
| 16. 専門知識より幅広い教養の重視 | 3.7 | 0.8 |
| 21. 様々な学生を集めて刺激し合うこと | 3.7 | 0.8 |
| 28. 男女共学 | 3.6 | 0.9 |
| 5. 教育よりも研究能力のある教師がいること | 3.5 | 0.8 |
| 3. 学生による授業評価の実施 | 3.4 | 0.9 |
| 23. 2学期性の導入 | 3.2 | 0.7 |

表5

III. 学生募集について

| P 3 | 平均 | SD |
|------------------------|-----|-----|
| 1. 外国人留学生の積極的な受入れ | 3.8 | 0.8 |
| 6. 学生の留学機会の拡充 | 3.8 | 0.8 |
| 8. 外国人留学生のための日本語教育の充実 | 3.6 | 0.8 |
| 9. 学生の要求を取り入れた大学改革 | 3.6 | 0.8 |
| 12. 帰国子女の受け入れ体制の完備 | 3.6 | 0.8 |
| 3. 積極的な社会人の受入れ | 3.5 | 0.9 |
| 10. 女子教育の重視 | 3.5 | 0.8 |
| 4. 社会人入試を、学部進学者とは別枠で実施 | 3.4 | 0.8 |
| 2. 夜間大学院の設置 | 3.3 | 1.0 |
| 5. 社会人大学院の設置 | 3.3 | 0.9 |
| 7. 学生全員の海外研修 | 3.1 | 0.9 |
| 11. 海外の大学の分校を日本に設置 | 2.9 | 0.9 |

表6

IV. 施設・設備について

| P 4 | 平均 | SD |
|------------------------------------|-----|-----|
| 7. 資格取得に役立つ設備があること | 4.4 | 0.7 |
| 1. 語学教育のために施設の充実 | 4.3 | 0.7 |
| 6. 図書館は蔵書が多いこと | 4.3 | 0.8 |
| 5. 図書館の開館時間が長いこと | 4.2 | 0.7 |
| 3. 学生食堂、購買部、ソファハウス、コミュニティスペースなどの整備 | 4.1 | 0.7 |
| 2. キャンパス内の緑地整備 | 4.0 | 0.8 |
| 4. 冷(暖)房設備の充実 | 4.0 | 0.8 |
| 8. 地域住民も利用できる店舗がキャンパス内にあること | 3.0 | 1.0 |

表7

V. その他

| P 5 | 平均 | SD |
|-----------------------------|-----|-----|
| 1. 授業料や入学金を安く(経済的負担の軽減) | 4.4 | 0.8 |
| 4. 入学は易く(誰でも入れる大学)卒業は難しく | 4.2 | 0.9 |
| 2. 大学入試制度の改革 | 4.1 | 0.9 |
| 5. 社会に開かれた大学(地域社会への貢献、公開講座) | 4.1 | 0.8 |
| 7. 外人教師の採用 | 4.0 | 0.8 |
| 3. 社会人教員の採用 | 3.7 | 0.8 |
| 6. 大学教育には期待していない | 3.3 | 1.2 |